

私たちは一人一人の困りごとと向き合い、つながりの再構築を目指す社会の伴走者です。

松江市社会福祉協議会は、地域みなさんにその存在と役割を広く知っていただき、活用していただきたいと願っています。
どんな小さな困りごと・悩みごとにも親身になって支援する、私たちチーム社協の仕事の一部をご紹介します。



とにかく
頼りにして
ください!

社協マン
ウメ タ
ハザマ 埋太

DATA

あらゆる生活課題の事例に通じ、どの公的
制度が適しているか等を熟知、速やかに判
断して相談者の支援につなげる。行政との
コミュニケーションもスムーズ。

相談事例①

失業により、生活に行き詰まったシングルマザー

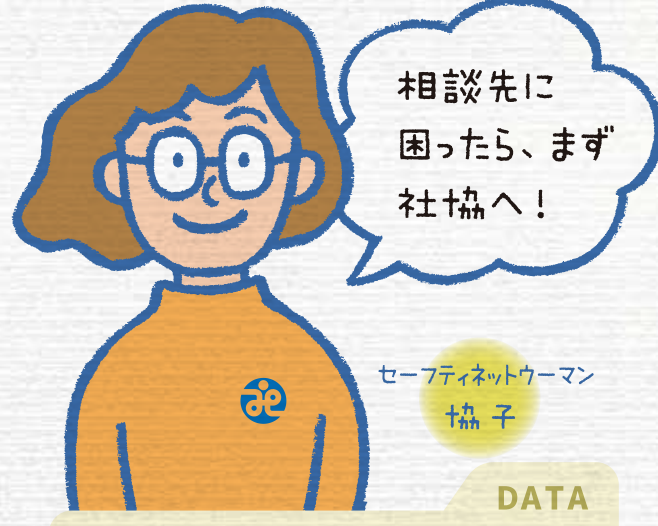
中学校卒業後、10代で結婚し2人の子どもをもうけたが、離婚し母子家庭となった30代女性。離婚協議の困難さやこれからの生活への不安から体調を崩し仕事もやめてしまった。再就職し生活を立て直したいと思うも当面の生活費や食べるものさえなくなって、ふくしなんでも相談所に相談。

●行なった支援

●フード、衣類の提供 ●民生融金、緊急小口貸付の適用 ●住居確保給付金の申請 ●就労自立促進事業の申請 ●家計相談支援事業の申請 ●各相談窓口へのつなぎ など

●支援後の状況

正規社員として採用され、滞納や債務について返済できる見通しがつき、苦手だった家計管理もできるようになった。また、困った時に相談できる窓口につながった。



相談先に
困ったら、まず
社協へ!

セーフティネットウーマン
協子

DATA

特技は、公私を問わない「つながりづくり」と、継続して見守る細やかな支援。
網目のような人脈を持ち、それぞれの道のエキスパートとつながっている。

相談事例②

両親が亡くなった後、地域で孤立していた男性

Wさんは8年前に母親が亡くなって以降、持ち家一人暮らし。20年前に勤めを辞めてからは定職につかず、短期のアルバイトや両親の遺産で生活してきたが、預貯金が底をついた状態。最近見かけないと心配した近所の方が民生委員に相談し、社協に連絡。

●行なった支援

●生活保護申請のためコミュニティソーシャルワーカーと訪問 ●医療機関受診同行 ●入院に必要な物品の提供 ●布団、衣類等の提供 ●家の清掃 ●プリペイド携帯購入同行 ●家電購入同行 ●対策会議

●支援後の状況

医療機関受診で栄養失調と診断され即日入院となったが、順調に回復。就労準備講座にも参加し、他の参加者と談笑する姿も見られた。現在も地域の方々に見守られながら、就職を目指し生活している。



一人で悩ま
ないで! 秘密は
必ず守ります。

ヒアリングエキスパート
聴子

DATA

こころの悩みを持つ人々の話を丁寧に傾聴し、相談者に安心感を与える。医療や法律の専門機関と力を合わせ、地域に広く支援の輪を広げることに長けている。

相談事例③

不登校からひきこもり、父の他界後、一人暮らしに

中学時代いじめに遭いひきこもりとなり、21歳頃には強迫性障害との診断から精神科通院していたBさん。今は症状は安定し、身の回りのことは一通りできるが、父親の他界により一人暮らしとなる。これまで就職活動をしたことがなく、仕事には就きたいがどうすれば良いかわからない状態だった。

●行なった支援

●就労準備講座への参加 ●職場体験の実施 ●臨床心理士の専門相談 ●サポートステーションへの相談

●支援後の状況

就労準備講座では積極的な姿が見られ、職場体験での評価も高かったが、Bさんから「体力的にしんどかった」との本音が。Bさんを理解するため、相談支援員は臨床心理士に相談、助言を受け、すぐに就職を目指すのではなく、ボランティア活動への参加を支援することとなった。

財源について

社会福祉協議会は、
営利目的でない民間組織です。
みなさまのご協力が支えです。

●社協会費

地域には、介護保険等の公的サービスだけでは解決できない、「法的整備が遅れている」「サービスがない」などの課題が山積しています。
制度の狭間の福祉課題、地域の特性を活かした地域福祉活動の推進のために、社協会費が必要とされています。
どうか、社協の事業活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

くわしくは
こちらから →



●赤い羽根共同募金



毎年、10月1日から全国一斉に「赤い羽根共同募金」がはじまります。
島根県内で集まった募金は、島根県内の子どもたち、高齢者、障がいのある方などを支援するさまざまな福祉の推進や災害時の支援に役立てられている、なくてはならない財源です。
みなさまのご協力をお願い申し上げます。

くわしくは
こちらから →

